

講義名	日本語総合 A				授業形態	
担当教員	井関 和恵		開講期・曜日・時限		前期 火曜日 3 時限	
			単位数	2	履修開始年次	1 年生
主題と概要						
大学生活を送るための基礎的な日本語能力を身につける。この授業では、日本語の文法項目について、基本的なものから日本語能力試験上級レベルのものに至るまで、幅広く意味や使い方を学ぶ。また、文法知識を学ぶだけではなく、実際の日本語でのコミュニケーションや文書でどのように使われるかについても考える。						
到達目標						
大学における学習活動に役立つように、基本的な文法構文の意味理解だけでなく、運用能力も身につけ、日常生活でのコミュニケーションや大学での学習に対応できるようになる。また、場面に応じた適切な日本語で表現し、実際の生活の場面で応用できるようになることを目指す。						
提出課題						
ワークシート、宿題、小テストなどは、授業内もしくはポータル上で指示する。						
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法						
ワークシート、宿題、小テストなどは添削して返却する。受講生の多くに間違いが見られた問題に関しては、再度解説を行う。						
評価の基準						
授業中の課題達成度（30％）、授業内発表（10％）、中間の理解度確認（30％）、期末の理解度確認（30％） 全授業の1/3以上（5回以上）欠席した受講生については、成績評価の対象から外す。						
履修にあたっての注意・助言他						
・毎回の授業で出席をとる。 ・15分以上の遅刻は、欠席とみなす。 ・遅刻3回で1回の欠席とする。 ・授業中の私語、スマートフォンなどの不必要な使用は慎むこと。 ・予習・復習を心がけ、日本語に触れる環境を意識して作ることを望む。						
教科書						
.使用しない。						
参考図書						
.なし。						

その他		
プリント資料は必要に応じて配布する。文献は適宜指示する。		
授業計画		
第 1 回 授業に関するオリエンテーション（授業の進め方、スケジュール、評価の方法、注意事項）、レベルチェックテスト 予習内容：シラバスを確認して授業内容を把握し、関連事項について内容を理解する。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）		
第 2 回 受身表現、準備を表す表現など 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。事前に配布する資料を読み、新出項目で分からない語句や読み方や意味などを調べておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）		
第 3 回 判断を表す表現、習慣を表す表現など 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。事前に配布する資料を読み、新出項目で分からない語句や読み方や意味などを調べておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）		
第 4 回 指示や予定を表す表現、勧誘を表す表現など 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。事前に配布する資料を読み、新出項目で分からない語句や読み方や意味などを調べておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）		
第 5 回 手帳や原図を表す表現、名詞に関する表現など 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。事前に配布する資料を読み、新出項目で分からない語句や読み方や意味などを調べておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）		
第 6 回 説明する表現、禁止の表現など 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。事前に配布する資料を読み、新出項目で分からない語句や読み方や意味などを調べておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）		
第 7 回 依頼の表現、立場を表す表現など 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。事前に配布する資料を読み、新出項目で分からない語句や読み方や意味などを調べておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。また、次回の「中間の理解度確認」に向けて準備をする。（120分）		
第 8 回 中間の理解度確認 予習内容：第 1 回～第 7 回の授業内容を復習し、「中間の理解度確認」に向けて準備しておく。（120分） 復習内容：「中間の理解度確認」で達成度の低かった箇所を中心に復習し、内容の理解を深める。（120分）		
第 9 回 同接を表す表現、意外性を表す表現など 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。事前に配布する資料を読み、新出項目で分からない語句や読み方や意味などを調べておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）		
第 1 0 回 結果を表す表現、帰属表現など 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。事前に配布する資料を読み、新出項目で分からない語句や読み方や意味などを調べておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）		
第 1 1 回 対象を表す表現、場所を表す表現など 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。事前に配布する資料を読み、新出項目で分からない語句や読み方や意味などを調べておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）		
第 1 2 回 肯定を表す表現、否定を表す表現など 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。事前に配布する資料を読み、新出項目で分からない語句や読み方や意味などを調べておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）		
第 1 3 回 仮定の接続詞、習慣を表す表現など 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。事前に配布する資料を読み、新出項目で分からない語句や読み方や意味などを調べておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。（120分）		
第 1 4 回 動作を表す表現、状況を表す表現など 予習内容：前回の授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。事前に配布する資料を読み、新出項目で分からない語句や読み方や意味などを調べておく。（120分） 復習内容：授業内容をノートにまとめ、内容の理解を深める。また、「期末の理解度確認」のための準備をする。（120分）		
第 1 5 回 期末の理解度確認 予習内容：「期末の理解度確認」のための準備をしておく。（120分） 復習内容：「期末の理解度確認」で達成度の低かった箇所を中心に復習し、内容の理解を深める。（120分）		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
☐ ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
☐ ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
☐ オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A し型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
日本語能力を向上させることで、自ら必要な情報を収集し、そこから得た知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材を育成する。		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
実務経験の有無及び活用		
備考		